

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

10456

プロムナード管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	2	都市機能や市民生活を支える道路網の整備
施策	2	生活道路の整備
取組方針	2	橋梁、トンネル等の適正管理

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	土木費		
	項	道路橋梁費		
	目	道路橋梁総務費		
	大事業	道路総務事業(道路管理課)		
中事業	プロムナード管理事業			

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 道路管理課 山本 隆生 435-1088
事業実施の根拠法令			関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	プロムナードの利用者に快適で美しい空間を提供する		京橋・堀詰橋プロムナードの管理		
事業内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
	堀詰橋プロムナードの清掃業務を業者委託した。	堀詰橋プロムナードの清掃業務を業者委託した。	堀詰橋プロムナードの清掃業務を業者委託した。	京橋プロムナードの貸し出し及び堀詰橋プロムナードの清掃を行う。	京橋プロムナードの貸し出し及び堀詰橋プロムナードの清掃を行う。

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	2,608	1,863	2,528	2,182	2,028	1,575	1,828	0	1,828	0	
伸び率(%)	0%	△25.1%	△3.1%	17.1%	△19.8%	△27.8%	△9.9%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	1,908	1,908	1,915	1,994	1,998	1,998	1,998	0	1,998	0
	正規職員以外	0	0	0	100	125	0	0	0	0	0
	小計	1,908	1,908	1,915	2,094	2,123	1,998	1,998	0	1,998	0
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	2,608	1,863	2,528	2,182	2,028	1,575	1,828	0	1,828	0	
所要人数(人)	正規職員	0.24	0.24	0.24	0.25	0.25	0.25	0.25	0.00	0.25	0.00
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.04	0.05	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	光熱水費711千円、所々修繕348千円、管理委託756千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
毎月1回定期清掃行う		回	目標値	12	12	12	12	12
			実績値	12	12	12		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
苦情件数		件	目標値					
			実績値	3	0	0	0	
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%
苦情処理率		%	目標値					
			実績値	3	0	0	0	
			達成度(%)	0%	0%	0%	0%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる		あまりできない	○ できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	○ 貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	施設の老朽化等に伴い今後管理コストの上昇が見込まれる。
見直し・改善内容	施設の更新が見込まれる。